

2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月8日

上場会社名 イハラサイエンス株式会社
 コード番号 5999 URL <http://www.ihara-sc.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営統轄室長
 四半期報告書提出予定日 2019年11月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 長尾雅司
 (氏名) 中川路 豊
 TEL 03-6721-6988

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	7,345	△22.9	1,157	△31.0	1,149	△35.5	807	△39.8
2019年3月期第2四半期	9,526	22.8	1,676	14.4	1,783	19.3	1,341	25.7

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 786百万円 (△41.5%) 2019年3月期第2四半期 1,343百万円 (14.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
2020年3月期第2四半期	77.85	77.50
2019年3月期第2四半期	130.77	130.57

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2020年3月期第2四半期	22,342	16,514	73.5	1,555.52
2019年3月期	22,230	16,163	72.4	1,569.57

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 16,423百万円 2019年3月期 16,101百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2019年3月期	—	—	—	45.00	45.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	46.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	16,000	△9.7	2,800	△15.3	2,800	△17.4	2,000	△19.4	192.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期2Q	14,000,000 株	2019年3月期	14,000,000 株
2020年3月期2Q	3,441,754 株	2019年3月期	3,741,685 株
2020年3月期2Q	10,373,028 株	2019年3月期2Q	10,257,828 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国経済が堅調に推移する一方で中国経済は下降局面に入り、わが国経済においても先行き不透明な状況が続いています。

このような経営環境の下、当社グループは配管を科学し、「お客様の望む時に、望むモノを、望む価格で」お届けすることに全力を注ぎ、「最適配管システムで世界のお客様に感動を」の実現に向けてグループ一丸となって邁進して参ります。

販売面では、スマートフォンやデータセンター向けの半導体の需要減少による半導体関連メーカーの設備投資抑制により、当社グループ製品の受注が大幅に減少しました。建設機械市場及び産業機械・工作機械市場に向けた販売も半導体市場向けの受注減少をカバーするまでには至らず、前年同期の売上高を大きく下回る結果となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は73億45百万円（前年同期比22.9%減）となり、営業利益は11億57百万円（前年同期比31.0%減）、経常利益は11億49百万円（前年同期比35.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億7百万円（前年同期比39.8%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

当社は製品構成から以下の2事業部を報告セグメントとしております。

(C P事業部)

半導体及び液晶製造装置市場向け、食品・医療市場向けに、クリーンな環境に対応した継手、バルブ、配管ユニット製品等を設計・生産していますが、半導体市場における設備投資の抑制に伴う受注の減少により、売上高は34億39百万円（前年同期比38.5%減）となり、セグメント利益は10億66百万円（同36.7%減）となりました。

(G P事業部)

建設機械、工作機械、車両、船舶、化学プラント等の一般産業市場向けの継手、バルブ、配管システム等を設計・生産しており、建設機械市場、産業機械市場からの需要により売上高は39億41百万円（前年同期比1.1%減）となり、セグメント利益は9億40百万円（同9.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億12百万円増加し、223億42百万円となりました。これは、新工場建設の設備投資により有形固定資産が9億89百万円増加し、一方で現金及び預金が増加した9億37百万円減少したことなどによるものです。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ2億40百万円減少し、58億27百万円となりました。これは、長期借入金が増加した4億円減少したことなどによるものであります。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3億51百万円増加し、165億14百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益8億7百万円による増加、配当金支払い4億61百万円による減少などでありあります。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末72.4%から当第2四半期連結会計期間末73.5%となり、1株当たり純資産額は前連結会計年度末1,569円57銭から当第2四半期連結会計期間末1,555円52銭となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローで8億51百万円のプラス、投資活動によるキャッシュ・フローで9億7百万円のマイナス、財務活動によるキャッシュ・フローで8億60百万円のマイナスとなりました。この結果、現金及び現金同等物は前連結会計年度末より9億16百万円減少し52億33百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は8億51百万円（前年同四半期は13億60百万円）でありました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益の計上11億49百万円、たな卸資産の増加による36百万円の減少、仕入債務1億円、未払金2億53百万円の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した資金は9億7百万円（前年同四半期は6億83百万円の支出）となりました。この主な要因は、投資有価証券の償還による収入が65百万円あったものの、有形固定資産の取得による支出が9億76百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は8億60百万円（前年同四半期は8億61百万円の支出）でありました。この主な要因は、長期借入金の返済による4億3百万円、配当金の支払いによる4億57百万円であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間におきましては、半導体市場における関連メーカーの設備投資の抑制等により当社グループ製品の受注の減少が続き、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期当期純利益は当初予想を下回る結果となりました。

また、通期連結業績予想につきましても、今後の業績の動向を踏まえ、2019年5月10日に公表した予想数値を以下のとおり修正いたします。

2020年3月期 通期連結業績予想数値の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期当期純利益	1株当たり当期 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想（A）	17,000	3,400	3,400	2,400	233.96
今回修正予想（B）	16,000	2,800	2,800	2,000	192.81
増減額（B－A）	△1,000	△600	△600	△400	－
増減率（％）	△5.9	△17.6	△17.6	△16.7	－
（ご参考）前期実績 （2019年3月期）	17,714	3,307	3,389	2,481	241.90

（注）上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,186	5,249
受取手形及び売掛金	3,384	3,364
電子記録債権	889	815
商品及び製品	668	662
仕掛品	1,212	1,171
原材料及び貯蔵品	1,471	1,555
その他	217	228
流動資産合計	14,029	13,046
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,653	1,621
機械装置及び運搬具（純額）	980	1,194
土地	2,391	2,391
建設仮勘定	1,033	1,831
その他（純額）	58	67
有形固定資産合計	6,117	7,106
無形固定資産	413	417
投資その他の資産		
投資有価証券	1,230	1,140
長期貸付金	7	6
繰延税金資産	365	502
その他	67	122
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,670	1,772
固定資産合計	8,201	9,295
資産合計	22,230	22,342

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	824	724
短期借入金	1,000	997
未払金	311	284
未払法人税等	532	489
賞与引当金	—	342
役員賞与引当金	23	—
その他	141	134
流動負債合計	2,833	2,973
固定負債		
長期借入金	1,486	1,086
退職給付に係る負債	1,232	1,253
長期未払金	281	281
資産除去債務	70	71
長期預り保証金	160	161
固定負債合計	3,233	2,854
負債合計	6,067	5,827
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,564	1,564
資本剰余金	636	618
利益剰余金	16,612	16,740
自己株式	△2,963	△2,726
株主資本合計	15,849	16,196
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	215	192
為替換算調整勘定	35	35
その他の包括利益累計額合計	251	227
新株予約権	46	73
非支配株主持分	15	17
純資産合計	16,163	16,514
負債純資産合計	22,230	22,342

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	9,526	7,345
売上原価	6,630	5,194
売上総利益	2,896	2,150
販売費及び一般管理費	1,219	992
営業利益	1,676	1,157
営業外収益		
受取利息及び配当金	28	27
為替差益	63	—
持分法による投資利益	14	0
その他	14	12
営業外収益合計	120	40
営業外費用		
支払利息	7	6
為替差損	—	32
その他	7	9
営業外費用合計	14	48
経常利益	1,783	1,149
特別利益		
退職給付に係る負債戻入額	37	—
特別利益合計	37	—
税金等調整前四半期純利益	1,820	1,149
法人税、住民税及び事業税	624	466
法人税等調整額	△147	△127
法人税等合計	476	339
四半期純利益	1,344	810
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,341	807

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,344	810
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13	△23
為替換算調整勘定	△10	1
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	△2
その他の包括利益合計	△0	△24
四半期包括利益	1,343	786
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,341	783
非支配株主に係る四半期包括利益	2	2

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,820	1,149
減価償却費	182	192
持分法による投資損益（△は益）	△14	△0
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△102	20
長期未払金の増減額（△は減少）	48	—
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△38	△23
賞与引当金の増減額（△は減少）	429	342
株式報酬費用	24	26
受取利息及び受取配当金	△28	△27
支払利息	7	6
為替差損益（△は益）	△55	14
売上債権の増減額（△は増加）	488	93
たな卸資産の増減額（△は増加）	△542	△36
仕入債務の増減額（△は減少）	△46	△100
未払消費税等の増減額（△は減少）	△29	39
未払金の増減額（△は減少）	△111	△253
その他	△80	△113
小計	1,952	1,329
利息及び配当金の受取額	28	27
利息の支払額	△8	△6
法人税等の支払額	△611	△499
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,360	851
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△856	△976
無形固定資産の取得による支出	△12	△10
投資有価証券の取得による支出	△3	△4
投資有価証券の償還による収入	196	65
長期貸付金の回収による収入	0	0
その他	△7	16
投資活動によるキャッシュ・フロー	△683	△907
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△403	△403
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△457	△457
その他	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△861	△860
現金及び現金同等物に係る換算差額	31	0
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△152	△916
現金及び現金同等物の期首残高	5,230	6,150
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,078	5,233

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	C P 事業部	G P 事業部	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,486	3,944	9,431	95	9,526
セグメント間の内部売上高 又は振替高	102	40	142	—	142
計	5,589	3,985	9,574	95	9,669
セグメント利益	1,684	1,032	2,716	28	2,745

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない商品売上及び賃貸不動産売上であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,716
「その他」の区分の利益	28
セグメント間取引消去	△8
全社費用(注)	△1,059
四半期連結損益計算書の営業利益	1,676

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	CP事業部	GP事業部	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,339	3,905	7,244	100	7,345
セグメント間の内部売上高 又は振替高	100	36	136	—	136
計	3,439	3,941	7,381	100	7,482
セグメント利益	1,066	940	2,006	40	2,047

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない商品売上及び賃貸不動産売上であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,006
「その他」の区分の利益	40
セグメント間取引消去	△1
全社費用(注)	△888
四半期連結損益計算書の営業利益	1,157

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。